

- 7 夏休みになったら先生やお友達に暑中見舞状を(出しましょう)
- 8 金沢駅につくとひどい雨でした。しかし少し晴らしていたら(しばらくして止んだ)
- 9 月曜日に体力テストがあったが健康は私達にとって(も)とても大切なものの一つです)
- 10 交通安全旬間の間だけでなく常に私達は(乗物にのる時や)道を歩く時には充分気をつけねばなりません)

ろう教育研修生教育実習講話

読話指導について

昭和三十年十月二十四日(木)

教諭 木村 哲雄

一 読話指導の方針

- (1) 言語を直観的体験的に指導して正確なる思想感情を陶冶し以てその活用に務むること。
- (2) 読話は単文主義により之を指導し一連のことば(単文)を以てその言語形式に習熟せしむること。
- (3) 正しい観察力、凝視力を練磨し、善良な読話態度を養成すること。

- 16 母はいつも忙しそうに(働いています)
- 17 できるだけ多く読書して自分の知識を深めましょう
- 18 朝快晴だったがお昼から(曇ってきいた)
- 19 おそれいますがちょっとおかし下さ
- 20 失礼ですが何か御用事でしょうか

れている
30 一万円の二割引はいくらか

二、読話指導の方法

○ 読話指導の入り方

- (1) 入学前の学校見学
- (a) 学校及び教師に慣れさせる
- (b) 父兄指導
- (4) 音器の特徴に注意せしめて正確迅速に読話する能力を養成すること。
- (5) 場を構成すると共に環境を整理し児童化に努め自信力を養い読話興味の喚起に努むること。
- (6) 読話指導と発語指導との調和を図り言語の活用に努むること。
- (7) 個人の能力に基づき能動的に読話せしむること。
- (8) 特殊読話を体成すると共に一般読話の能力を養成すること。

(2) 学習生活の誘導

(a) 教師の態度について
(b) 遊びの生活より学習へ

(c) 姿勢の指導

(d) 整列と行進

(e) 模倣運動

㊦ 読話態度の養成

(1) 口形凝視の態度養成（読話基礎能力）

a 動作の模倣練習

い 律動遊戲 擬声語、擬態語

ろ 平易な身体運動

は 大筋運動より小筋運動へ

に 顔面指示

ほ 口形模倣

（発語基本練習）

b 注意力の集注

い 動作注意の養成——動的玩具など

ろ 静的注意の養成——静止せる事物など

は 線と歩行

に 携帯歩行

(2) 読話態度の誘発

1 口体操 舌、唇、顎、口筋の運動模倣及び舌の安定

2 口形カード遊び

い 口形カード合せ

ろ 口形カード拾い

3 母音の口形模倣（最も正しく自然な口形）

4 口形模倣と読話態度、正しい観察力の養成

口形模倣——口声模倣——心内模倣——直覺的読話の態度（読話表象）

A (3) 能動的読話態度の養成

自ら進んで読話せんとする態度

1 児童の欲求に応じた取扱い

い 遊戲を利用して読話の出来た者に満足を与える

ろ 競争遊戲等により読話を見逃した場合には不利となるが如きもの

2 得意がらせる

児童の読話した事に対して常に賞讃を忘れぬ事

B 児童相互の読話練習

3 批判的読話

い 誤謬の発見 児童相互に於て又教師が殊更に示して

ろ 検討的取扱によつて正否を正す

4 好奇的本能の利用

い 教弁物の提示に際して

ろ 物当て遊び、カード遊びなど

一文全体を見る態度の養成

(4)

1 語尾により文全体の変化をなす場合

2 早合点をした習慣

(5) 部分にまで注意する態度の養成

1 助詞の変化のあるもの

2 同一文章形中の単語

(6) 語調表情によって対者の意をはかる態度の養成

1 指導は最も自然口形速度によること

2 事実在即した語調表現に依ること

C 読話興味の喚起に就いて

(1) 環境の兒童化に努力すること。

1 教室の変化、氣分の養成、裝飾

2 教弁物、玩具の撰択

い 共同的な玩具

ろ 運動用玩具

は 感覚練習用具

に 標本

3 室内遊戲用ライン

4 指導の遊戲化

(2) 兒童の氣分に應じた指導

1 兒童の心理に合致した遊戲的生活指導

い 遊戲生活の言語指導

ろ 指導の遊戲化

2 威厳を失せず子供らしく愉快に

(3) 教材の選択

1 生活の言語化から言語の生活化へ

a 抽象的言語指導と具體的體驗的言語指導

b その場・その所に必要な言語指導

(日常生活語)

2 兒童の生活中より選択する

3 直感的材料より選択する

4 兒童の経験中より選択する

(4) 語彙を豊富にすること

1 兒童の生活をそのまま指導する

a 運動場に於ける遊びの生活

b 手真似を言語に置換えさせる

2 偶発事項も取り入れること

(5) 兒童の意・氣持を汲んでやること

1 指導者が兒童の口形を読んでやること

2 兒童の意志を汲んでそれに適した言語を授けてやること

ること

(6) 綜合的取扱

D 正確迅速に読話すること

(1) 相手の語る思想、感情を正當に理解させる

a 學習態度の意味養成

b 言語習慣の確立

(2) 比較読話の練習

語尾の異なるもの
 学校へいきましたかめがいます
 きました
 あります

助詞の異なるもの
 お父さんにもらいました
 が

同一文章形に於ける単語の比較

机の上にあります
 えをかきました
 下に
 てを

(3) 全文的把握

- 1 一連の言語には、文脈がある（読話単文主義）
- 2 類推読話

い 一材料を使って動詞の変化を練習する。
 ろ 或部分だけ口をかくして読話させる（連想）
 は 助詞に於いて意味を異にするもの。

(4) 検討（念をおす）

命令語と比較判断せしめ、理解を正しくする。
 い 否定語で反問する。
 ろ 肯定語で反問する。

は 相づちの言葉としていく迄にしたい。

(5) 瞬間的読話練習（フラッシュ・リーディング）

- 1 一回で読話させる
- 2 正面からも側面からも、読話させる
- 3 読話すると同時に答えさせる。

- ### E
- 4 歩きながら読話練習する。

- ### A
- A 読話と発語との関係について

B 発語基本練習用語の読話

- 1 発語誘発準備（擬声語、擬態語、明るい声の誘発としての読話）（遊戯生活用語、感覚練習用語）
- 2 発語要領指導の準備としての読話

い 基本練習用語
 ろ 要領指導用語

- ### C
- 3 語調指導の準備としての読話

- 1 口調模倣の好模倣
 生き写しになるまで練習
 （息継ぎ、音器の円滑、表情指導）

- 2 自問自答
- 3 自己命令——自己動作

F 会話指導への読話

- 1 自問自答
- 2 自己命令 自己動作
- 3 語調、表情指導
- 4 相互読話の練習
- 5 検討的会話

- ### G 各教科の読話
- a 現在形
 - b 過去形
 - c 未来形
 - d 相反答

(一般標準学力養成)

H 読話テスト

I 場の構成と練磨法

如何なる場に於ても

如何なる練磨をして行くか

三 国語科に於ける読話

A 国語科指導目標

ろう学校小学部に於ける国語科学習指導の目標は、ろう児に対して視覚残在聴力及び触覚をことばへの入口として読話(読唇、聞くことを含む)及び発語(発音、話すことを含む)の能力を養いながら、読んだり書いたり綴ったりする事が一通り出来るようにし国語による思考を可能にする様な実験を与え生活環境における言葉の使い方に慣れさせる事である。

B 各学年指導の目標

C 指導上の注意

D 国語科指導内容(読話・発語・読む・書く・綴る)の中

読話指導内容について

一年

- 。合図符号の理解と使用が出来てそれが音声及び口形に結びつく
- 。遊びを通しての読話

。情緒や感覚を表わす言葉の理解

。生活に密接な関係のある言葉の理解

。視覚的に見易い言葉の理解

。同一物認定

。一秒間に三四音節の速さの言葉の理解

。音や肉声による聴覚の刺激

。拡大された音や拡声による聴覚の刺激

。音の強弱が解る

。喜んで補聴器を使う

。補聴器等を使って音楽を聞く

二年

。生活に必要なことばの理解

。口形の似ている五六音節のことばの理解

。五Wの理解

。簡単な関係判断のことばの理解

。生活に密接なことばは場をはなれても読話する

。母音、破裂音を含む五六音節のことばの弁別

。楽音の高低の理解

三年

。読話が読話として分立す

。口形の似ていることばの区別

。社会的に必要なことばの理解

。簡単なことばは読話したことはそのまま書く

四 年
。單純な空間的關係と來ることばの理解

。連想推理によることばの理解
。色々な口形速度のことばの大体の理解
。助詞の相違の読話
。相對的判断におけることばの理解

五 年

。意味のない五六音節のことばの理解
。簡単な童話や物語の読話
。色々な角度からの読話
。声音の弁別

六 年

。読話したことを間違ひなく書く
。大体の人の形、態度のことばは理解する
。長い話を読話する

発語指導講話

昭和三十年十二月一日（木）

教諭 中 森 靖

ろう学校の発語指導

。發語の基本訓練

1 呼吸訓練

a 鼻腔および口腔呼吸
b 口吸鼻呼及び鼻吸口呼
c 呼吸の長短、断続要領

2 音器訓練

a 舌の訓練
b 唇の訓練
c 口形訓練
d 顎の訓練

3 発声訓練

a 口形模倣
b 口声模倣
c 声の自覚
d 耳と息との自覚
e 呼吸と音器の調和
f 口音と鼻音の區別
4 その他

a 振動の有無知覚

b 拍子の練習

c 自然の発声、誘発

d 発声模倣……母音

e 発語模倣